

325号

2026年
1月

日赤みやぎ



▲海外たすけあいキャンペーンオープニングセレモニー（令和7年12月）青少年赤十字加盟園のミッキー北仙台こども園の園児が元気いっぱい募金を呼びかけました。

新年のご挨拶（令和8年）

明けましておめでとうございます。県民の皆様には、日頃から赤十字の活動に対しご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、3月の大船渡市林野火災をはじめ、各地で数多くの自然災害が発生しました。被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈りいたします。

日本赤十字社では、発災直後から被災された方々に向けた医療救護活動やこころのケア活動を展開しています。大船渡市林野火災の際には、宮城県支部からも職員を派遣し、被災地で災害救護活動を行いました。

また、ウクライナや中東での人道危機への支援など、世界中の苦しむ人々を救う国際活動も赤十字の重要な役割のひとつであり、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」赤十字の使命とその活動に対する期待は、ますます高まっています。

赤十字の使命である人道の実現のために、今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



日本赤十字社宮城県支部
支部長 村井 嘉浩

特集

あなたの身近に赤十字!

～地域で活躍する赤十字ボランティアの皆さんをご紹介します～



赤十字は「人道」に基づき、皆さまの地域で様々な活動を行っていますが、実はその活動は多くの「赤十字ボランティア」の皆さんによって支えられています。今回は、身近な地域で活躍するボランティアの皆さんをご紹介します!

赤十字の人道の理念のもとで仲間と共に学び合い、高め合いながら活動を広げていきたいです!

救急法ボランティア指導員 **菅原 萌さん** (活動歴 約2年)

赤十字救急法等ボランティア指導員

一次救命処置や応急手当等の知識や技術を広めるボランティア76名



内容: 一次救命処置や応急手当等の知識や技術を広めるために講習を行っています。
対象: 救急法を学びたい一般の方々



きっかけ

私の住む地域では高齢化が進む中、救急車が到着するまで平均9分以上かかるため、それまでの対応に課題意識を持ったことがきっかけです。自分だけでなく多くの人と知識・技術を共有し、地域全体で支え合えるようにしたいと思いました。

コメント

これまで就職活動のため、講習への参加が限られていましたが、今後は多くの人に知識や技術を伝える活動を積極的に行いたいと考えています。一人ひとりの小さな勇気が大きな一歩となるよう、赤十字の人道の理念のもとで仲間と共に学び合い、高め合いながら活動を広げていきたいです。

やりがい

講習後に参加者が満足した表情で帰られる姿を見たときにやりがいを感じます。また、実際の場面で行動できるよう意識しているという声や、知識・技術を日常に活かそうとする姿を見たときも嬉しくなります。

地域のことで災害に対し興味を持つ“きっかけ”作りを進めていきたいです!

防災教育事業指導者 **内藤 裕明さん** (活動歴 約2年)

防災教育事業指導者

防災に関する知識や技術などを広めるボランティア21名



内容: 災害時に自分の命を守るためにどう行動すればよいのかなど、防災セミナーを通して、学べるカリキュラムを開催しています。
対象: 学校や赤十字奉仕団、町内会など



きっかけ

救急法等を受講しているうちに、日赤では防災に関わる活動もあるよと指導員の方からお誘いがありました。習得した救急法等も役立ち、活動範囲を広められると考え、始めました。

コメント

私自身、恥ずかしながらこの防災教育に携わるまでは、自宅周辺の“避難先”すら把握しておりませんでした。だからこそ、例えば開催地区で起こり得る災害を調べ、伝え方を工夫することで、地域のことで災害に対し興味を持つ“きっかけ”作りを進めていきたいと思います!!

やりがい

防災セミナー実施中、参加者の皆さんがカリキュラムに真剣に取り組まれている姿、参加者同士でその地域のことを熱心に話し合っている姿を見た時、「今日学んだことを家族に話します!」と聞いたりした時です。

子どもたちにも地域のために力を発揮してもらいたいという想いで活動しています!

仙台市山田鉤取赤十字奉仕団 **加賀 孝一さん** (活動歴 約10年)

地域赤十字奉仕団

各市町村で地域ニーズにあった赤十字活動をするグループ
約10,300名 (136団)



内容: 日赤の救急法を受講した後に、山田鉤取地域の学校の防災訓練で「三角巾を使った応急手当の方法」を小学校5・6年生～中学生に伝えています。他にも地域の秋まつりに出展し、子ども達や地域の方々と交流する活動なども行っています。
対象: 上野山小学校児童、山田中学校生徒、保護者や地域の方々
開催時期: 毎年10月頃(今年度は令和7年10月18日(土)に防災訓練、10月26日(日)に山田ふれあいまつりに出展)



きっかけ

高齢の方が多い地域なので、元気に動けるうちは地域のために頑張ろう!地域に奉仕しよう!という想いで活動をはじめました。

コメント

奉仕団員は町内会役員や民生委員が兼ねていますが、若い世代にも広げていけたらと考えています。赤十字のことだけではなく、「赤十字奉仕団」の存在や活動がもっと広く知ってもらえるように、身近に感じてもらうように頑張っていきたいです。子どもたちも奉仕団のことや活動を知ること、大人になった時に自分もやってみたいという想いにつながります。子どもから大人までたくさんの方が集まる地域のお祭りでも、赤十字奉仕団の旗をかかげてアピールしていきたいです。

やりがい

子どもたちにも地域のために力を発揮してもらえたらという想いで活動しています。三角巾を包帯にする方法を教えた時に、子どもたちが喜んでる姿や、習得した中学生がまわりの子たちに教えている姿を見た時にやりがいを感じます。

赤十字の看護学生として、奉仕の心を持って地域に貢献したいです!

石巻看護専門学校学生赤十字奉仕団 **川村 麗冴さん、佐々木 七菜さん、内海 明希さん** (活動歴 約2年)

青年赤十字奉仕団

学生や社会人(おおむね18～30歳)などが活動するグループ
約300名(3団)



(写真左から、佐々木さん、川村さん、内海さん)

内容: 地域のボランティア(お祭りやイベント)、地域の献血キャンペーン(呼びかけ、ティッシュ配り)に参加しています。他にも地域の方や支部からボランティア依頼があった際に活動します。
対象: 地域住民



きっかけ

日々の看護の学びを社会の中でも活かし、経験を積みたいと考えたため。また、赤十字の看護学生として奉仕の心を持って地域に貢献したいと思ったためです。

やりがい

献血ボランティアの際、目標の献血者数に達した時や、私達の呼びかけで参加してくださる方が増えたとき、イベントやお祭りでは参加者が楽しんでいる様子を見た時にやりがいを感じます。

コメント

私たちの呼びかけで献血をしてくれる人が少しでも増えたら嬉しいです。これからも地域の人とのつながりを大切にしながら活動を楽しんでいきたいです。



皆さまからいただいた活動資金は、地域でのボランティア活動にも役立てられています!その他の活動は、ホームページ・SNSをぜひご覧ください。



ホームページ



Facebook



Instagram

アカチャンホンポ 仙台泉店でイベントを開催しました

9月27日(土)に乳幼児に対する一次救命処置(心肺蘇生・AEDを用いた電気ショック・気道異物除去)の体験イベントを開催しました。子育て中は長い時間を使って講習会に参加することは難しい状況にあります。育児用品の買い物がてら必要な知識と技術を身につけて、育児に関する不安を減らす一助になればと実施しています。会場では保護者だけでなくお子さんも積極的に体験してくれました。参加者からは「短い時間で知れたかったことが学べてよかった!」との感想をいただきました。

今回は、令和8年2月21日(土)10:00~16:00(最終受付15:45)開催予定です。



家族みんなで赤ちゃんを守るよう、親御さんもお子さんも皆さんで参加していました。



今年も海上保安庁と合同訓練!

11月18日(火)、宮城海上保安部と日本赤十字社宮城県支部との合同訓練を実施しました。

この訓練は「海上保安庁と日本赤十字社との業務協力に関する協定」等に基づき、平成27年度から実施しているもので、南海トラフ地震が発生し、仙台赤十字病院・石巻赤十字病院から救護班等を三重県へ派遣した想定で行いました。

緊急車両での走行や救援物資の船内への積載、巡視船へ収容された多くの傷病者にトリアージを実施、搬送・応急処置というような内容で訓練を行いました。

風が強く、船外は寒さが身に沁みる天候でしたが、実動時の具体的な流れを確認できたほか、訓練後の検討会では、傷病者への配慮や重症度別の治療エリアの配置場所などについて改善点が話し合われ、今後に向けて有意義なものになりました。

※トリアージ…災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、傷病の緊急度や重症度に応じて治療優先度を定めること



▲救護班員による処置の様子



▲ハートラちゃんも参加しました

赤十字の防災プログラムを先生達が体験!



▲避難所に持っていくものを吟味中

10月23日(木)、大河原地区保健安全教育研究部研修会で青少年赤十字防災教育プログラムと赤十字防災セミナーを小学校で教べんをとる先生達に体験してもらいました。

グループワークでは災害時に必要となるものを共に考え、また、避難所で起こりうる課題への対応策などを検討しました。参加者は熱心に生き生きとした表情で「楽しく学ぶことができ、大変参考になりました。」「学校でも子どもたちと実践してみたいです。」という感想を寄せられました。

日赤宮城県支部では、今後も多くの学校で先生方や児童・生徒を対象とした防災セミナーを開催していきます。

市民セミナーを開催しました!! ~in 八木山市民ふれあいまつり~

八木山市民センターで行われた「八木山市民ふれあいまつり」に参加し、市民セミナーを開催しました。

今年度2回目となる市民セミナーでは、「元気とキレイのカギは運動にあり!」と題し、理学療法士による講話や運動機能のチェックを行いました。多くの質問が飛び交う賑やかなセミナーになりました。また、ハートラちゃんとのふれあいや救急車の見学ブースを設置し、来場者の皆さまと活発な交流をすることができました。

今年度最後の市民セミナーは2月28日(土)に実施を予定しております。地域の皆さまの健康の一助になるような企画を計画中です。



▲理学療法士による講話

6年ぶりとなる仕事参観を開催

7月31日(木)に働きやすい職場づくりの一環として、当院の職員の子どもたちを対象とした仕事参観を開催しました。本イベントは令和元年にスタートしましたが、新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせていたため、今回6年ぶりの開催となりました。

当日は小学生40名が参加し、検査部や放射線部、医局など各部署を巡りました。実際に検査室で心電図の機器に触れたり、診察室で包帯巻きの体験をしたりと様々な医療の現場を体験しました。普段は見られないお父さんやお母さんの働く姿を見て、子供たちは目を輝かせていました。

このイベントを通じて、職場と家族を繋ぐとともに、親の立派な働きを知ることで未来の地域の担い手を育てて参ります。



▲心電図の機械を実際に触る子供たち



▲包帯巻き体験の様子

献血のバス広告が復活しました!

献血への関心を一層高めてもらおうと、宮城県出身のデザイナーさんが素敵なポスターをデザインしてくれました。

「行くぞ!」ってわくわくしますね。なぜって、誰かに言われたから…ではなくて、自ら思い自ら行動することだから。そしてそれが誰かの命を救う。これが私たちの献血活動!略してケンカツ!

台数限定ですが仙台駅発着の仙台市営バスと泉中央駅発着の宮城交通バスの側面に大きく貼っています。ケンカツを広めましょう!



▲12月から走っています

【確定申告のススメ】

確定申告



まもなく確定申告の季節です。お手元に赤十字活動資金や災害義援金、海外救援金にご協力いただいた領収書はありませんか？これらご寄付の合計が1年間で2,001円以上*となった場合、確定申告により所得税の還付や住民税の優遇措置が受けられます。詳しくは最寄りの税務署やお住まいの市区町村にお問合せ、またはホームページでご確認ください。

*ふるさと納税や、国から優遇措置を認可された他の団体（赤い羽根共同募金会など）への寄付金も合算できます。



赤十字へのご寄付や
優遇措置の詳細は
こちらから

日赤みやぎ324号読者プレゼントにご応募ありがとうございました！

読者の声

- 初めて「日赤みやぎ」を手にししました。赤十字の活動の一端に触れ、ますます感謝の気持ちでいっぱいです。(40代)
- 息子がJRCに携わってから多くを知る事ができています。自分でも献血などを通して貢献できればいいなと思ってます。(50代)
- 今回渡されていなければ、じっくりと日本赤十字社宮城県支部さんの活動を知る機会は無かったでしょう。一通り目を通し、活動に対する興味が湧いてきました。今後は献血の際目を通すようにしていければと思いました。(20代)
- 非常食かんたんレシピで、粉末乳と袋で作る簡単プリン、今度作ってみたいと思います。災害は起きない方がいいけど、知識として知っておきたいです。(40代)
- ハートラちゃんが可愛い。語尾が「ガー」なのを初めて知りました。(30代)

日赤みやぎ編集委員会から

約70名以上の皆様からご応募いただき、誠にありがとうございました。本紙に目を留めてくださった方々の声を聞くことができて嬉しく思います。これからも活動の充実に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



お役立ち情報

非常食かんたんレシピ



＊アネちゃんの＊ かんたんどはん帳 Vol.35 袋で作るロールキャベツ



非常食としてストックするのにぴったりなのが、ランチョンミートの缶詰ですね。どっしりとしたかたまりのお肉は、卵焼きと一緒ににおにぎりにしたり、ゴーヤチャンプルが定番ですが、濃い風味をいかしてロールキャベツにすれば、災害時でも満足できる一品に……。ランチョンミートをキャベツに包み、他の材料と一緒に耐熱のポリ袋に材料を入れて湯煎にするだけなので、とても簡単です。コンソメがなければトマトケチャップを入れたり、カップスープの素（何味でもOK）を1袋に1包入れても美味しくできます。通常のロールキャベツでは丸ごとのキャベツを茹でて葉を柔らかくして包みやすくしますが、こちらは包んだあとに袋で形成するので生の葉でも大丈夫です！

アネ（牧野純子）
イラストレーター・FCAJ認定フードコーディネーター
仙台市在住 赤十字防災ボランティア
出版社、CM制作会社を経てフリーランスとして活動中

＊材料（4袋 2～4人分）＊1人1～2個

A 水…大さじ2(30ml)×4袋分
玉ねぎ(薄切り)…1/4個分×4袋分
コンソメの素(顆粒)…小さじ1×4袋分

※固形キューブなら4袋に1/2個ずつ

B ランチョンミート缶(減塩)…1個(340g)
キャベツの葉…6～8枚程度

＊作り方

1. Aを4枚の耐熱ポリ袋にそれぞれ入れる。
2. ランチョンミートは四等分に切る。
3. キャベツの芯のまわりに包丁で切り込みを入れ、葉を1枚ずつはがし、固い部分は削ぎ落として薄切りにし、1の袋に加える。
4. キャベツの葉1～2枚で2のランチョンミートを包み、4個作ったら、1の袋にそれぞれ入れ空気を抜いて上の方で結ぶ。
5. 鍋に4と水を入れて蓋をし、中火にかけて、沸騰してから30分間、中火で加熱する。

※ポリ袋破損防止のため鍋底にザルや耐熱皿を入れる
6. 5を器に盛り付ける。

※好みでブラックペパーや粉チーズをかけてもOK



※写真は2個分です



日本赤十字社 宮城県支部
Japanese Red Cross Society

〒981-3117 宮城県仙台市泉区市名坂字石止4番7
TEL 022-725-7520 FAX 022-725-5150
MAIL info@miyagi.jrc.or.jp
ホームページ <https://www.jrc.or.jp/chapter/miyagi/>

